



ハンガリー政府観光局 ニュース 2009 年 11 月 9 日 No.173

- ブダペスト ウィンターフェスティバル
- ブダペスト 冬の宿泊キャンペーン
- リスト音楽院管弦楽団コンサート(11/18 東京)
- 国会議事堂が足場の無い美しい姿に
- ブダペスト ترام 2 号線全線通し運転に
- 【コラム】ハンガリー見聞録 (9) その5 バスに乗ってエステルハーゼ宮殿へ ②

ブダペスト ウィンターフェスティバル

ブダペスト ウィンターフェスティバルが 11 月 3 日から 2010 年 2 月 28 日まで開催されています。

2010 年のフェスティバル年を前倒したブダペスト ウィンターフェスティバルは、市内の博物館や美術館、劇場を中心に開催されます。詳細情報は：www.culturalbudapest.com (英語)

ブダペスト・ウィンターフェスティバルの主なプログラム

開催日など	テーマ・演目など	会場
-2/14	ポッティチェリからティティアンまで	西洋美術館
-2-1/10	ミュンヘンのハンガリー人	国立美術館
-12/7	ハンガリーの自然写真展	自然史博物館
11/10	オーケストラ・アンサンブル金沢	芸術宮殿
11/14	聖マルトンの日の祝宴	農業博物館
11/14, 19 22 25 29	ワグナー「タンホイザー」	国立歌劇場
11/20-22	アドベント 2009	民俗学博物館
11/20-12/29	クリスマス・マーケット	ヴルシマルティ広場ほか
11/21, 24, 27, 29	プッチーニ「蝶々夫人」	国立歌劇場
11/27	ハーレムゴスペルコーラス	芸術宮殿
11/30	ジャズを歌劇場で	国立歌劇場
12/2, 3, 5, 6, 9, 10, 13, 16, 17, 25, 26, 27, 29	チャイコフスキー「バレエ くるみ割り人形」	国立歌劇場
12/3	ハイドン音楽サロン	芸術宮殿
12/5, 8	プッチーニ「蝶々夫人」	国立歌劇場
12/5-6, 12-13, 19-20	手作りのクリスマス飾り	農業博物館
12/11-12	ベンハー・ライブショー	スポーツアリーナ
12/11-13	クリスマス・フェア	民俗学博物館
12/18-20	クリスマス・フェア	工芸美術館
12/18, 20, 23	ヴェルディ「ドンカルロ」	国立歌劇場
12/19	オルガンツアー ウェストミンスター寺院	芸術宮殿
12/19, 22, 26, 28	プッチーニ「ラ・ボエーム」	国立歌劇場
12/20, 25, 27	モーツァルト「魔笛」	国立歌劇場
12/30	100 人のロマ楽団コンサート	国際会議貿易センター
12/30-31	シュトラウス「こうもり」	国立歌劇場
12/30-31	おおみそかイベント	ヴルシマルティ広場ほか
12/31	オペラ・ガラ	国立歌劇場
12/31	オペレッタ・ガラ・シブ	オペレッタシブ
1/1	ニューイヤーコンサート	芸術宮殿
1/2-3	シュトラウス「こうもり」	国立歌劇場
1/12, 16, 23, 30	プッチーニ「トスカ」	国立歌劇場
1/13, 14, 15, 17	プロコフィエフ「ロミオとジュリエット」	国立歌劇場
1/15, 27, 30	ロッシーニ「セビリアの理髪師」	国立歌劇場
1/16, 23, 30	バジリカコンサート	聖イシュトヴァーン大聖堂

1/19	民俗音楽際	芸術宮殿
1/19, 22, 24	ヴェルディ「ドンカルロ」	国立歌劇場
1/22	ハンガリー祝祭バレエ「シェラザード」	芸術宮殿
1/23	かぼちゃの日	農業博物館
1/28, 31	チャイコフスキー「オネーギン」	国立歌劇場
2/2, 17, 20	プッチーニ「トスカ」	国立歌劇場
2/3, 6	チャイコフスキー「オネーギン」	国立歌劇場
2/4	クリス・レア コンサート	スポーツアリーナ
2/6, 13, 16	バジリカコンサート	聖イシュトヴァーン大聖堂
2/7	ランキ「ポマード王の新しい服」	国立歌劇場
2/13	Abba ショー	スポーツアリーナ
2/13	オペラ舞踏会	国立歌劇場
2/14	ダンスカーニバル	国立ダンス劇場
2/14	フンパーディンク「ヘンゼルとグレーテル」	国立歌劇場
2/18	ロッシーニ「セビリアの理髪師」	国立歌劇場
2/21	ベートーベン マラソン	芸術宮殿
2/23	ダニエル・バレンボイム コンサート	芸術宮殿
2/28	クロスボーダーの日	芸術宮殿



ブダペスト 冬の宿泊キャンペーン

ブダペスト 冬の宿泊キャンペーン「BWI Budapest Winter Invitation」が 11 月 15 日から 2010 年 3 月 31 日まで行われます。

今年で 4 回目となる BWI キャンペーンは、3 泊を 2 泊分の料金で、あるいは 4 泊を 3 泊分の料金で提供するもので、個人・団体を問わずこのキャンペーンを利用することができます。

今シーズン(11/6 現在)は市内の 3 つ星(23 軒)、4 つ星(30 軒)、5 つ星(10 軒)合計 63 ホテルが参加します。キャンペーン参加ホテルなどの情報は<http://www.budapestwinter.com/>(英語)から。

リスト音楽院管弦楽団コンサート(11/18 東京)

日本・ハンガリー交流年を記念し、11 月 18 日(水)19 時からリスト音楽院管弦楽団のコンサートが、東京池袋の東京芸術劇場の大ホールで公演されます。

演目はコダーイ「ガランタ舞曲」、リスト「ピアノ協奏曲第 1 番」、ベートーベン「交響曲第 7 番」で、全席指定 A 席が 2,000 円と破格です。

お問い合わせは、武蔵野音楽大学演奏部: 電話 03-3992-1120 (平日の 9:00-17:30)

国会議事堂が足場の無い美しい姿に

世界で最も美しい国会議事堂の一つといわれるハンガリー国会議事堂は、長年ドナウに面した部分に修復のための足場が組まれていましたが、このたび全ての足場が取り外され、美しい姿を見ることができるようになりました。



足場の無い美しい姿となった国会議事堂(パツチャーニ広場から Photo by PED)

ブダペスト トラム 2 号線全線通し運転に

世界遺産地区であるブダペストのドナウ河岸を走るトラム 2 号線は、自由橋付近の地下鉄 4 号線の工事に伴い南北に分断されていましたが、10 月末の工事終了に伴い全線の通し運転が再開されました。

この路線は、マルギット島、国会議事堂、民俗学博物館、くさり橋、ドナウクルーズ船乗り場、コントラクインクム、エリザベート橋、自由橋、中央市場、国立劇場、芸術宮殿、ペーフィ橋などのアクセスに便利で、対岸のブダ側を走るトラム 19 号線と同様に世界遺産地区を概観するのにも好適です。



世界遺産ドナウ河岸を行くトラム 2 号線(ヴィガドー広場停留所付近から Photo by KK)

【コラム】ハンガリー見聞録 (9)

その5 バスに乗ってエステルハージ宮殿へ ② 大きな大きな宮殿とすてきなガイドさん

ショプロンからのバスを降り、エステルハージ宮殿に向かいます。5分も歩かないうち、道的前方右手に木立がこんもりと見え、向かいの左手にはレストランが2軒見えました。木立の向こうに立派な門があり、そこがエステルハージ宮殿入り口でした。

門に入って圧倒されるのが、宮殿の壮かさです。写真から想像していたよりはるかに大きく、美しく、迫力があります。ブダペストの国会議事堂の広さやイシュトバーンバジリカの高さには及びませんが、明るい黄色の壁が緩やかなアーチを描いて左右対称に、噴水の泉を抱えるように建つ優美さは本当に印象的です。

宮殿内部の見学のため、門の左手のチケット売り場で窓口の上品なご婦人に声をかけます。日本語ツアーはなく、英語ツアーなら午後4時に始まること、時間が来たら宮殿正面左横の緑色のドアから中に入るように…と説明があり、入場料 1500Ft 払います。改めて、宮殿の広さ、大きさを実感しつつ、緑色のドアを目指しますが…遠い…。きっと、昼過ぎまでショプロンあたりで貸自転車チャーターと走り回って、お疲れモードに入っていたからと思いますが、とにかく門から宮殿入り口までが遠く感じられました。



エステルハージ宮殿入り口の門です。立派です。向こうに見える宮殿がまた立派です。

見学客は各国の観光客 10 人程度で、東洋人は私だけ、西洋人のお客さんが英語以外のツアーに出てしまい、ひとり残った私に声をかけてくれたのは、ブロンドのショートカットがすてきな若い女性ガイドさんでした。「英語わかりますか?」「ほんの少しだけです」「ハンガリー語は?」「とてもとても少しだけ…」そこでガイドさんは、自分も英語はたくさん話せないで、もう一人一緒に、自分よりも英語のできるガイドがご一緒します、と言ってくれました。

たったひとりのお客に、ガイドさんがふたり…ブルネットにグレーアイの、彫りの深い顔立ちが印象的な女性ガイドさんが加わり、ゴージャスなプライベートツアーのスタートです!

まずは館内をご案内しましょう、と施錠されたドアを開け、宮殿内部に通されたところ、こわもてのおじ様登場…ブロンドさんと何やら厳しい口調でやりとりしています。察するに、ひとりのお客にふたりも付くな!とおじ様が注意し、ハイハイわかりましたよ〜、とブロンドさんが返していた雰囲気…しかしそのまま館内を進みます。



正面からみた宮殿。アーチ状になっているのですが、広過ぎてひとコマではおさまりません…。

ブロンドさんとブルネットさんが、互いに補足しあいながら、「わかりますか？」と私を気遣いながら説明してくれます。時折、お二人から不意に「ドゥーユーノー、サーヴァント？」など質問が飛ぶのが何ともスリリングです。お二人の説明に、展示物の雰囲気と事前の予習をあわせて、何とか理解した感じでした。すてきな美女コンビの温かいおもてなしで、時に笑いも交え、エステルハージ家のこと、所蔵品のこと、ハイドンとのつながり…など、いろいろなお話を聞かせてもらいながらの館内めぐりでした。さすが貴族！という感じの華やかな調度品がたくさん、皆さんの部屋それぞれに飾られ、見ているだけでもリッチな気分になりました。



宮殿内部見学者の入り口、緑のドア。
横に案内板がハンガリー語、ドイツ語、英語で出ています。

まだまだお話がございます。この続きはまた次回に…